

採用試験 集団討論 課題 (令和4年度)

※ 集団討論で与えられる課題は、各自1課題です。

(選考試験)

●職務経験者型（一般行政事務（一般枠、行政実務経験枠））

課 題

- ①香川県では、南海トラフ地震をはじめとする大規模災害に備え、地区防災計画の策定促進など自主防災組織の活性化や、家具類転倒防止対策等の家庭における防災対策を促進しているところである。
大規模災害の発生時に、県民が適切な避難行動をとるためには、より一層の防災意識の向上が必要であるが、県としてどのように取り組んでいくべきか、あなたの意見を述べ、討論しなさい。
- ②香川県では、県民の利便性の向上と行政運営の効率化を図るため、セキュリティ対策にも留意しつつ、行政手続のデジタル化を推進しているところであるが、行政手続のデジタル化を進めていくにあたり、その課題と、県としてどのように取り組んでいくべきか、あなたの意見を述べ、討論しなさい。
- ③香川県では、県内企業の人材確保に向け、「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」において、きめ細かなマッチング支援や合同就職面接会の開催などに取り組んでいるところであるが、求職者に対し、県内企業の情報や魅力を効果的に発信していくためには、県としてどのように取り組んでいくべきか、あなたの意見を述べ、討論しなさい。
- ④香川県では、結婚を希望する男女の出会い・結婚をサポートする拠点「かがわ縁結び支援センター（EN-MUSU かがわ）」において、結婚支援に取り組んでいるところである。少子化の大きな要因となっている晩婚化の進行や未婚率の上昇を抑制するためには、県としてどのように取り組んでいくべきか、あなたの意見を述べ、討論しなさい。
- ⑤香川県では、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とした地方回帰などの意識の変化を捉え、移住促進ポスターの刷新や移住マッチングサービスの活用など情報発信の強化を進めているところであるが、より多くの方に本県への移住についての関心を高めてもらうためには、県としてどのように取り組んでいくべきか、あなたの意見を述べ、討論しなさい。
- ⑥香川県では、令和3年12月に、「香川県脱炭素・地球温暖化対策本部」を立ち上げ、脱炭素に向け全庁的に取り組む体制を構築したところであるが、省エネルギーの推進や、再生可能エネルギーの導入促進にあたり、県としてどのように取り組んでいくべきか、あなたの意見を述べ、討論しなさい。
- ⑦香川県の農林水産物や地場産品などは、多品目・高品質な商品特性を有しているものの、首都圏や関西圏での認知度は、讃岐うどんほど高くないことから、認知度の向上に向けて、積極的な情報発信や一層のブランド化の強化を図る必要がある。
これらの県産品のブランド力の強化や販路の拡大に向けて、県としてどのように取り組んでいくべきか、あなたの意見を述べ、討論しなさい。

⑧香川県では、今年1年間、「交通死亡事故ゼロを目指す！2022」をキャッチフレーズとして、毎月の交通死亡事故ゼロを目指して、様々な対策を実施しているところであるが、県民の交通安全意識を上げていくためには、県としてどのように取り組んでいくべきか、あなたの意見を述べ、討論しなさい。

●職務経験者型（学校事務）

課 題

①昨年度の東京オリンピック競技大会では多くの県出身選手が活躍したところであり、今後もトップアスリートをめざす次代の選手が競技力を高めることができる環境づくりを継続的に進めていく必要がある。これを推進するにあたり、県としてどのように取り組んでいくべきか、あなたの意見を述べ、討論しなさい。

②全国的に教員不足が課題となる中で、本県においても中長期的な視野から、計画的な採用に努め、教職への意欲と熱意を持った優秀な教職員を確保することが求められている。これを推進するにあたり、県としてどのように取り組んでいくべきか、あなたの意見を述べ、討論しなさい。